

## 立命館保健センター 教職員向けニュースレター

## 健やか立命

## 百日咳が流行しています！ ～咳が続くときは、咳エチケットを心がけ、医療機関受診を～

**百日咳ってどんな感染症？**：百日咳菌（*Bordetella pertussis*）による急性気道感染症で、長引く咳嗽を主症状とします。カタル期（かぜ症状）、痙咳期（乾性咳嗽、発作性の咳）、回復期の3期を経て「百日咳」というの名のとおり、通常2～3か月の経過をとります。

**流行状況**：感染症法上全数把握疾患となった2018年以降、国内患者報告数は、新型コロナウイルス感染症の流行により2020年から減少していましたが、昨年2024年から増加傾向となり、今年に入り全国的に流行が拡大し患者数が急増しています（下図：報告数の推移）。世界的にも、百日咳の流行拡大が報告されており、マクロライド耐性百日咳菌の出現増加が一因と考えられています。

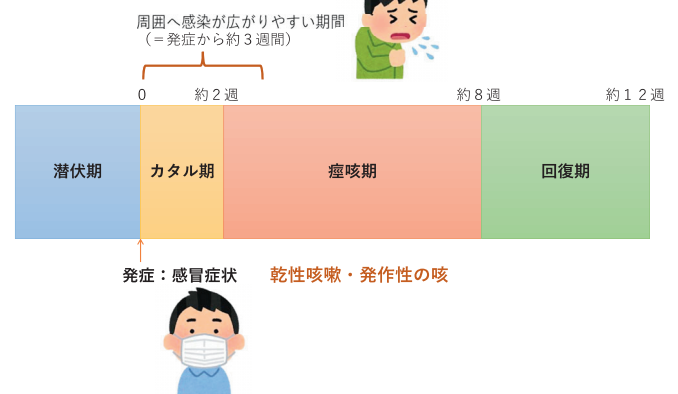
**大切なこと**：日本の定期予防接種では、乳幼児期の百日咳含有ワクチン（不活化ワクチン）接種後、追加接種の機会がなく、抗体価が低下している10代の感染が最も多くなっています。10代及び成人は生命にかかわることは少ない一方、乳児は重症化しやすく、感染拡大に伴い乳児例も増加し、日本でも救命できない乳児例が複数報告されています。乳児の感染源は、その家族であることがほとんどで、地域や社会で、乳児と家族を守るために、感染を広げない対策が求められています。

**感染経路と対策**：基本再生産数16～20（1人の患者が免疫のない感受性者の集団で感染させる人数が16～20人）と感染力の強い感染症ですが、感染経路は飛沫感染、接触感染なので、基本的な感染対策である咳エチケットや手指衛生が感染拡大防止に有効です。咳がでている時、室内やバス・電車内などで2m以内の対面で咳をすると周囲に感染を広げるリスクがありますが、マスクをすることで飛沫感染を予防できます（夏季は熱中症リスクもありマスクは熱がこもりやすいので、1人の時などは適宜はずしましょう）。

**治療**：通常の感冒は1週間程度で軽快しますが、咳が続くときは、医療機関を受診しましょう。これまで、百日咳の治療には、マクロライド系抗菌薬が第一選択薬として用いられてきましたが、近年、マクロライドが効かないマクロライド耐性菌の出現が世界的な問題となっています。学校保健安全法では「特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌薬投与が終了するまで出席停止」となっていますが、国内でも耐性菌が増加しており、5日内服しても咳が続いている間はマスクでの咳エチケットが必要です。

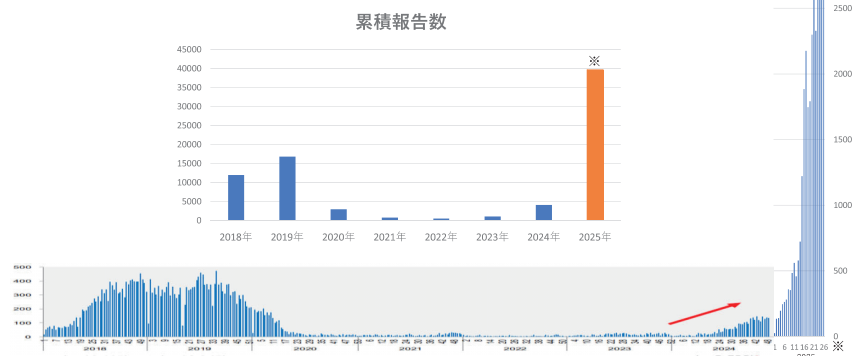
**予防接種と課題**：重症化しやすい乳児を守るため、生後2か月になったら直ちにワクチンを接種する早期ワクチン接種や乳児の家族へのワクチン接種が呼びかけられています。また、このたびの百日咳流行の課題を踏まえ、本邦においても、他の欧米諸国で導入されている①就学前や学齢期における追加接種、②母親からの移行抗体で乳児の重症化を防ぐ妊娠後期への母親への百日咳含有ワクチン接種が望まれます。（文責・三沢 あき子）

## 百日咳の経過



## 百日咳報告数の推移（感染症発生動向調査）

※：2025年 第26週（6/23～6/29）まで



## 職場における熱中症対策の強化へ -早期発見の体制整備・重篤化を防ぐために-

近年、熱中症による死亡災害が3年連続で年間30人を超えており、労働災害による死亡者の約4%を占めています。その原因の多くが、「初期症状の放置・対応の遅れ」によるものとみられます。

気候温暖化が進む中、熱中症死亡災害を防ぐためには、事業場における労働衛生管理体制を徹底し、熱中症の早期把握や重篤化の防止が不可欠です。このため、2025年6月1日より熱中症を生じる恐れのある作業※を行うときは、

- ① 異常を早期発見するための体制整備
- ② 重篤化を防止するための措置の手順作成

を事業者が作成するように義務付けられました。

※「**WBGT（湿球黒球温度）28度**又は**気温31度以上**の環境下で、**継続1時間以上**又は**1日4時間**を超えて実施」が見込まれるもの

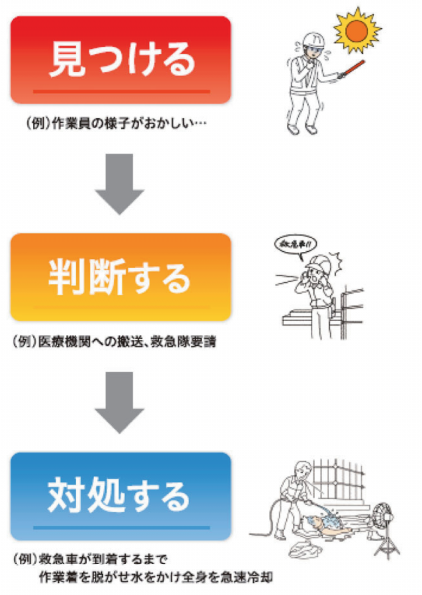
熱中症対応の基本的な考え方は、**見つける→判断する→対処する**です。

ご自身の職場で、報告体制の整備や実施手順の作成ができているか確認し、いざというときに素早く対応できるように準備をしておきましょう。

熱中症死亡災害(R2-R5)の分析結果



### 基本的な考え方



### “いつもと違う”と思ったら、**熱中症**を疑え



**すぐに周囲の人や現場管理者に申し出る**

立命館保健センター 衣笠（志学館1F）  
TEL 内線 511-2141 外線 075-465-8232  
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

立命館保健センター BKC（ウエストW1F）  
TEL 内線 515-7241 外線 077-561-2635  
〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1

立命館保健センター OIC（H棟1F）  
TEL 内線 513-2357 外線 072-665-2110  
〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150